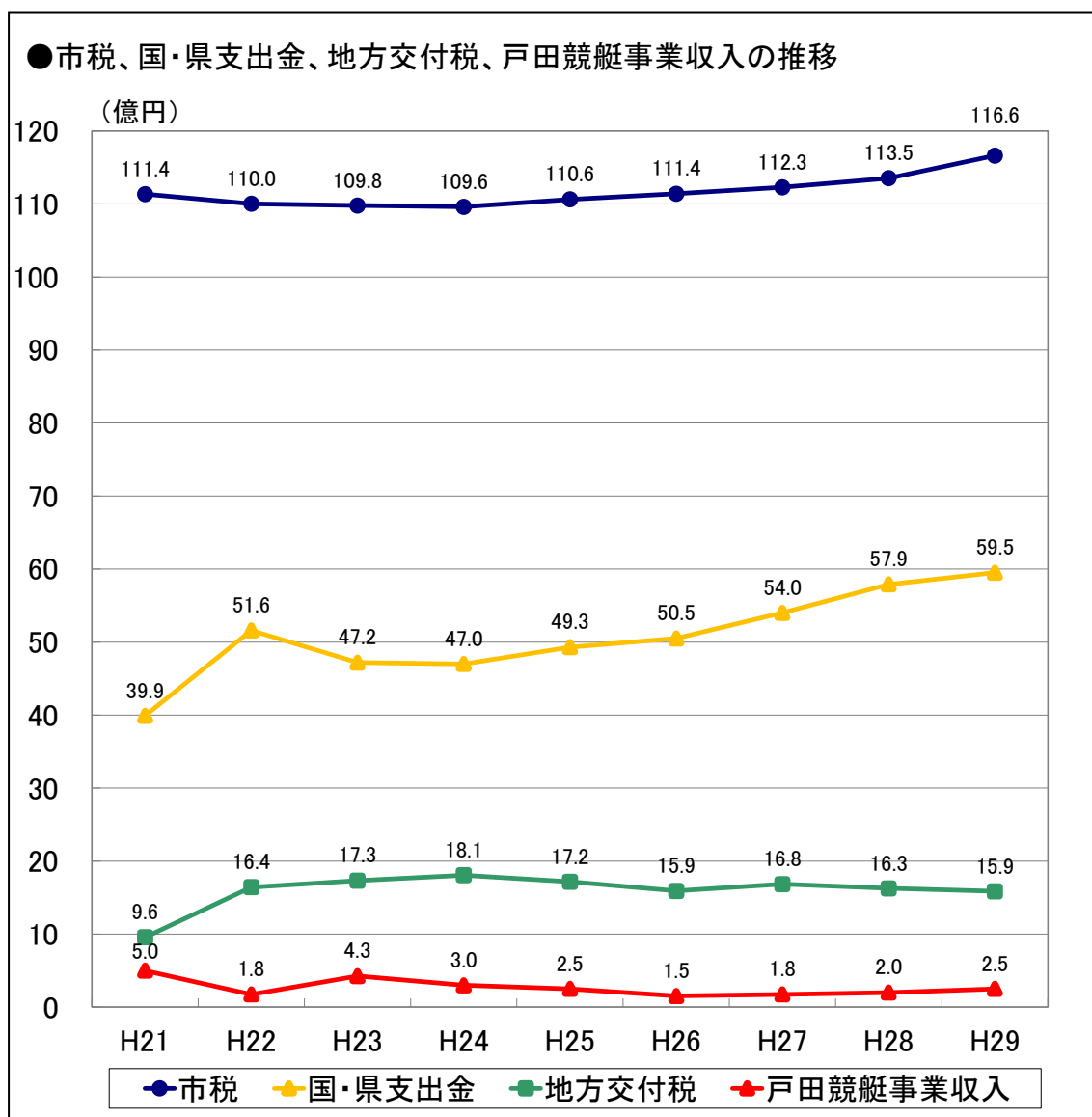


「コンパクトシティ 蕨」将来ビジョン推進プラン に掲載している統計資料（直近の状況）

（1）歳入について

市税収入は、本市を取り巻く社会経済環境の変化により、国・県支出金は、少子高齢化等に伴う社会保障経費の増大に対応し、平成25年度以降、29年度まで増加傾向にあります。また、近年の地方交付税は16億円前後、かつては多額の収入源であった戸田競艇事業収入は2億円前後と横ばいで推移しています。

今後は、高齢化の進展などにより、歳入環境は厳しくなっていくことが見込まれます。

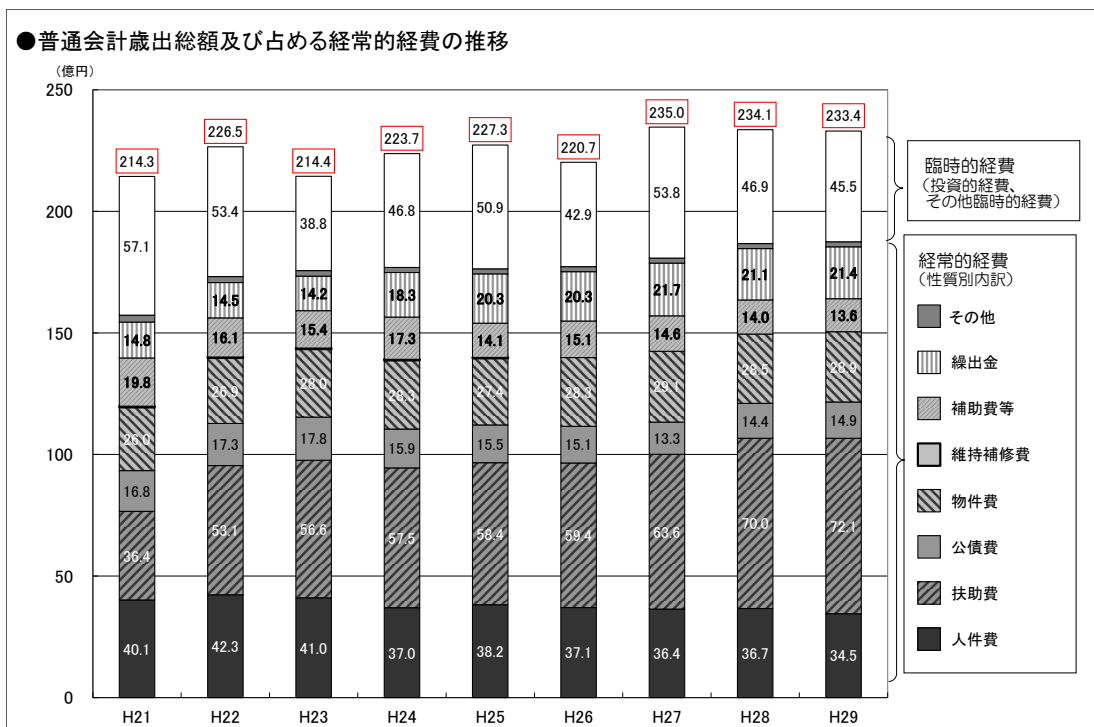


(2) 歳出について

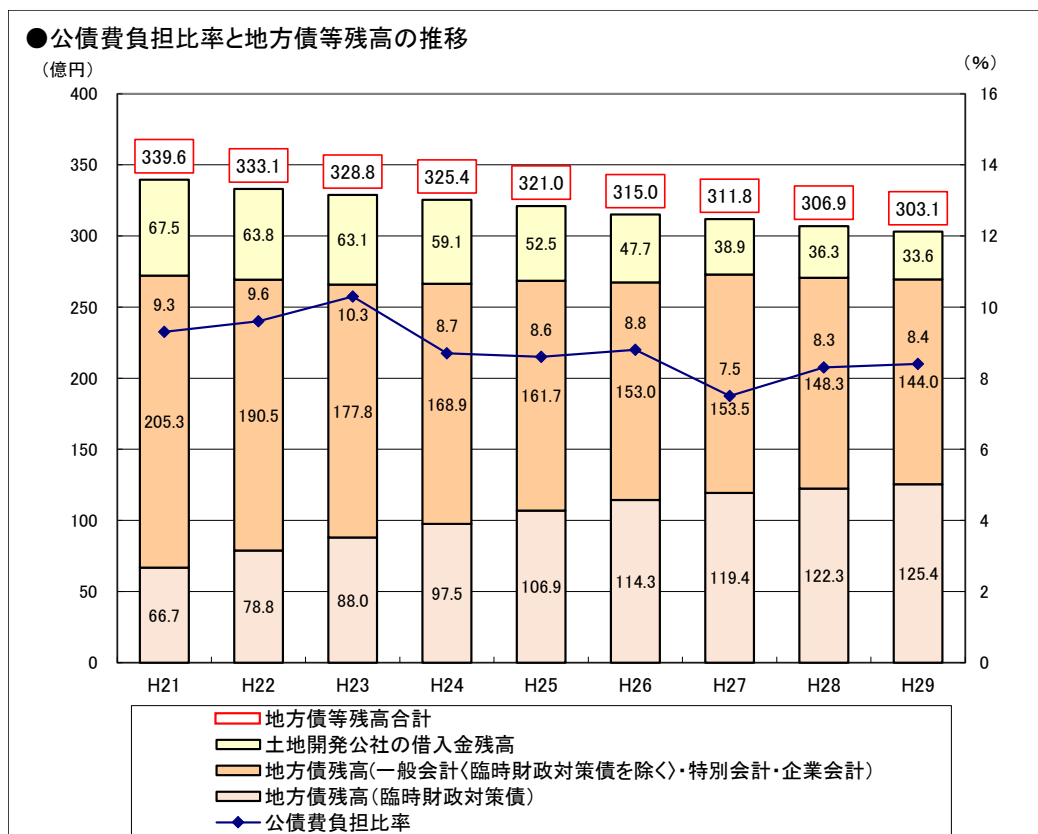
子ども・子育て施策や福祉施策など、少子高齢化に対応した社会保障経費の大幅な増加、優先課題である公共施設の耐震化や土地開発公社の経営健全化などにより、歳出総額は増加傾向にあります。

今後は、更なる超高齢社会への対応や、駅西口再開発、市庁舎建設など大きな行政課題への取り組みが控えており、行政経費が更に膨らむことが見込まれます。

また、近年は、土地開発公社借入金の縮減が進み、地方債等残高は年々減じておりますが、今後は公債費の増加に留意する必要があります。



- < 経常的経費 > 毎年、経常的に支出される経費で、行政運営を行うために必要な一種の固定的経費。
- < 臨時的経費 > 道路や公園、その他公共施設の建設費など一時的な行政需要に対して支出される経費。
- < 人件費 > 特別職や職員などに対し、給与や諸手当などとして支払われる経費。
- < 扶助費 > 生活保護・高齢者福祉・障害者福祉・児童福祉などのため、社会保障制度の一環として支出される経費。
- < 公債費 > 地方債（借金）の返済（元金・利子）にかかる経費。
- < 物件費 > 公共施設の電気・水道料などの光熱水費や各種の委託料などに支出される経費。
- < 維持補修費 > 道路や公共施設の修理などに充てられる経費。
- < 補助費等 > 民間団体（各自治会や任意の活動団体など）や他の公共団体に支出する補助金や負担金として支出される経費。
- < 繰出金 > 一般会計から特別会計に対して支出する（特別会計の歳入）経費。



＜土地開発公社借入金＞ 土地開発公社は地域の秩序ある整備を図るため、必要な公有地となるべき土地を市に代わって先行取得してきましたが、取得にあたっての借入金については、市が債務負担行為（後年度の債務を約束すること）を設定しているため、土地開発公社借入金の残高は、市の将来的な財政負担となります。

＜臨時財政対策債＞ 地方財源の不足に対処するため、平成13年度から、地方公共団体において発行することとされた地方債。臨時財政対策債の元利償還金相当額については、その全額が後年度、地方交付税の算定の基礎となります。

＜公債費負担比率＞ 公債費に充当された一般財源の、一般財源総額に対する割合。この数値が高いほど、財政運営の硬直性の高まりを示しています。（普通会計決算）